

一般質問

主な質問と答弁

6月定例会中の一般質問は、6月18日、21日、22日、23日の4日間にわたって行われました。今回の質問者は16人で、市民自治、観光行政、教育、福祉などについて、市の考えをいただきました。

藤沢市観光振興計画

「観光立市 藤沢」の発展を目指す

地域に根差した観光振興を

質問 本市の観光振興計画の策定に当たっては、地域に根差した具体的な計画となるよう期待しているが、観光立市としての藤沢をどのように位置づけるのか聞きたい。

答弁 今年度に策定を予定している観光振興計画においては、すそ野が広く地域経済の活性化に大きく寄与する観光産業の持続的な成長と「観光立市 藤沢」の発展に向け、平成二十三年末の海水浴客数を除く年間観光客数を一千万人に設定し、その達成とさらなる向上を目指すため、「南北縦断観光地化」、「四季を通じた観光客の誘致」、「日本中・世界中からの観光客の誘致」、「地域の特性を生かした観光客の誘致」を重点課題とした観光施策を検討していく。また、湘南の海と

北部に広がる豊かな自然、遊行寺を初めとした歴史資産等の地域資源を活用し、新たな観光資源の発掘、観光イベントと連携した地元製品のPRなど、地域に根差した観光振興に取り組むことが重要であり、計画に位置づけていきたいと考えている。

質問 計画策定については、外部への委託ではなく、市みずから策定を目指すという方針が、どのようになっているのか。

答弁 観光協会の専門機関、公共交通機関や神奈川県等をメンバーとする有識者会議や庁内関係部門による検討委員会、実務担当者によるワーキンググループをそれぞれ設置し、観光産業の現状把握、今後取り組むべき戦略課題の設定



市内南北の縦断観光地化を目指す＝遠藤あじさいまつり

質問 「保育園原っぱ化事業」による善行乳児保育園の一部芝生化については、芝の植栽から一年が経過し

試行実施から1年 保育園原っぱ化事業 来年度さらに1園で実施

質問 「保育園原っぱ化事業」による善行乳児保育園の一部芝生化については、芝の植栽から一年が経過し、状況を見ながら、その後の拡大については検討したい。

答弁 平成二十一年三月、滑り台等の遊具の下やフェンス際等、園庭の周囲二百平方メートルにコウライシバを植栽し、これまで、水やりについては季節に応じて週二、三回程度、芝刈りについては一回だけ行うなど、原っぱ化事業を考慮してあま

質問 羽鳥小学校の南側一帯は、頻繁に冠水するようだが、その原因分析と対策について聞きたい。

答弁 小学校の南側市道に埋設された下水道は、周辺地区の下水が集まる下水道幹線であり、強雨時には上流からの雨水が集まり、幹線の排除能力を超え、さら

質問 市内の低地部での冠水対策については、さらなる取り組みが必要と思われるが、どうするか。

答弁 河川と下水道の機能を連携させ、総合的に雨水排除能力の向上を図ることが重要であり、雨水の流出先となる県管理の境川や引地川等の整備促進、河川整備状況に応じた雨水管渠の整備促進等のハード対策を推進する。あわせて、雨水を浸透、あるいはためるなどの施設を分散的に配置し、

し、市内小、中及び特別支援学校への支援策の一つとして介助員制度を拡充し、学校の教育活動に使える時間を大幅にふやした。さらに、別室登校の児童生徒に

質問 市立小学校の児童生徒に対する人員配置、通常級における教育活動の補助等に時間を活用し、児童生徒の支援に大変役立っている。聞いており、幅広く本市の児童生徒を対象にした支援を行っている。

質問 市の奨学制度は、授業料相当額であっても授業料以外にも使用できる就学援助であり、完全に国の政策との重複ではない。負担増大した家庭があるのに、救済策の検討もなく廃止するのは不適切ではないか。

答弁 近隣の市の支援策もいろいろ議論があり、実施も決まっているわけではない。聞いています。その対応も今後変わることがあるかと思

が、どのような総括をしているのか聞きたい。

答弁 平成二十一年三月、滑り台等の遊具の下やフェンス際等、園庭の周囲二百平方メートルにコウライシバを植栽し、これまで、水やりについては季節に応じて週二、三回程度、芝刈りについては一回だけ行うなど、原っぱ化事業を考慮してあま

質問 川名地区では、狭隘した道路整備が必要であるという認識を持ち、今後も県と連携して事業促進を図っていただきたい。

答弁 川名地区では、狭隘した道路整備が必要であるという認識を持ち、今後も県と連携して事業促進を図っていただきたい。

し、市内小、中及び特別支援学校への支援策の一つとして介助員制度を拡充し、学校の教育活動に使える時間を大幅にふやした。さらに、別室登校の児童生徒に

質問 市立小学校の児童生徒に対する人員配置、通常級における教育活動の補助等に時間を活用し、児童生徒の支援に大変役立っている。聞いており、幅広く本市の児童生徒を対象にした支援を行っている。

質問 市の奨学制度は、授業料相当額であっても授業料以外にも使用できる就学援助であり、完全に国の政策との重複ではない。負担増大した家庭があるのに、救済策の検討もなく廃止するのは不適切ではないか。

答弁 近隣の市の支援策もいろいろ議論があり、実施も決まっているわけではない。聞いています。その対応も今後変わることがあるかと思

が、どのような総括をしているのか聞きたい。

答弁 平成二十一年三月、滑り台等の遊具の下やフェンス際等、園庭の周囲二百平方メートルにコウライシバを植栽し、これまで、水やりについては季節に応じて週二、三回程度、芝刈りについては一回だけ行うなど、原っぱ化事業を考慮してあま

質問 川名地区では、狭隘した道路整備が必要であるという認識を持ち、今後も県と連携して事業促進を図っていただきたい。

答弁 川名地区では、狭隘した道路整備が必要であるという認識を持ち、今後も県と連携して事業促進を図っていただきたい。

議員全員協議会を開催 新総合計画策定の 取り組みについて報告

議員全員協議会は、四月十二日、六月七日、二月十五日に開催され、四月十二日と六月二十五日に「ふじさわ未来課題」は、市民、地域及び行政の課題として、また、基本計画を練り上げ、これに対し、質疑を

市民の核不拡散条約(NPT)再検討会議参加について報告を受けた。

○新総合計画策定の取り組みについて
〈市の説明〉
新総合計画については、本年二月に基本構想が議決され、四月以降、地域経営戦略一〇〇人委員会や地域経営協議会等

計画の策定に取り組んでいく。基本計画の策定に当たり、暮らしやすい向上を、どのくらい大切に感じているかの「重要度」の指標に分類し、地域ごと、あ

この「気づき」と行政からの課題、地域や市民活動団体からの課題を、地域経営戦略一〇〇人委員会、地

今後は、各地区の地域経営協議会や市民センター・公民館においては、地域住民の声を聞きながら、地域まちづくり計画案を今夏にも策定し、市域全体のまちづくり計画についても、地域経営戦略一〇〇人委員会や市民の声を聞きながら策定していく予定である。

なお、実施計画については、今後、議員全員協議会で中間報告したのち、平成二十三年一月に策定を終え、二十三年度予算案に反映し、二十三年度より新総合計画に基づく「私たちの政府」による「藤沢づくり」を進めていきたい。